

いっぽ・にほの活動指針

☆事業所の存在目的☆

障がいのある児童や保護者にとって、「住みやすい地域づくり」を！
“ワクワクドキドキ”を合言葉に、地域の困りごとに寄り添い、

地域とともに「困った」を「良かった」に！！

☆存在目的に込めた思い☆

放課後等デイサービスとして、まずは十人十色の子どもたちが生きていく上での“困った”に寄り添い、そこから保護者の方や地域の方、そして組員、それぞれの“困った”をみんなで考え、支え合い“良かった”に！そして、人と人につながり、輪が生まれ、みんなが安心して集うことのできる、

『“ほっ”とできる おたたかい』居場所・地域作りをしていこう！！

その1

☆事業所を『みんなのおうち』に☆

組員一人ひとりが、得意分野で力を発揮することで、
お互いを尊重し合い、仲間意識を深め、**愛**のある職場に。
そして「ありがとう」を大事にし、

笑顔あふれる『みんなのおうち』へ！

『子どもたちのための居場所』を作ろう！

を作ろう！

その3

☆仲間たちの“チカラ”を信頼するということ☆

☆組員一人ひとりの**個性や違いを受け止め**、話し合いを深めていくこと
☆様々な意見が飛び交う中で多様性に気づき、**お互いを尊重すること**
⇒とことん話すという時間は、なかなか作れるようなものではない
“大切な時間”だということを一人ひとりが認識し、
共通の意識をもって仲間たちと協力しあい、チカラを発揮し、
困難にも立ち向かっていこう！

その2

☆話し合いを深め、自分たちの手でつくり出していこう！☆

☆子どもたちを守っていくために組員全員で、
『何が出来るか』をとことん話し合って、まずはやってみる！

☆少人数制の班活動により、一人ひとりの意見が反映しやすくなることで、
それぞれが責任を持って話し合い、計画を立て、実行し、楽しむことで
“ワクワクドキドキ”しよう！

さらには班ごとの連携により**仲間意識をより高めていこう！**

その4

☆地域の未来に向かって、力を合わせていこう！☆

毎月『みんなの食堂』を開催し、賑わい**笑顔**が溢れている！
そこには地域のニーズがあり、子ども食堂ネットワークや**企業**、
地域とも『つながり』が広がってきている。

このような『**つながり**』を大切にし、個々や地域のニーズにも応え、
この活動を通してさらに地域や保護者を巻き込んで、
新たなネットワークを拡充し**新たな居場所作り**としていきたい。